



札幌市立北光小学校

大正13年（1924年）に開校した札幌市立北光小学校は、札幌市の都心から近い住宅地に位置しており、開校91周年を迎えた歴史ある学校です。100周年の佳節に向け、明るく強く、そして考える子どもを育てるさまざまな教育活動に取り組んでいます。



札幌市時計台

全校児童333名（2015年2月）の子どもたちは、「子」であり、「個」の集まりです。「子・個」を具体的にとらえながら、個に応じた目標に向かって、子ども一人ひとりの光に磨きをかけるという伝統は、今も受け継がれています。

2013・2014年度は、北海道金融広報委員会から「金融教育研究校」の委嘱を受け、社会科を中心に金融教育の授業に取り組みました。

授業では、子どもたちに身近な話題を取り上げました。4年生の公開授業では、水道水がなぜ有料なのかを話し合い、きれいで安全な水をいつでも使うことができるのはさまざまな施設やそこで働く人たちのおかげであることを学びました。また、学校や家庭で使う水道水の料金を予想させ、タブレット端末を使って自分の考えを電子黒板に表示させるなど、時代の流れに沿った学習も取り入れました。

3年生の社会科の授業では、自分たちの買い物について振り返り、スーパーマーケットの見学やお店の方へのインタビューを通して、価格以外にも安全や品質などの視点も含めた買い物ができるよう学びました。お店や品物を選ぶ際の工夫とともに、金銭の価値やお金を大切に使うことを学ぶことができました。

金融教育研究校としての活動を一つのきっかけに、今後とも、生活していく上で必要な知識や知恵について学びながら、新たな歴史を築いていきたいと考えています。



北光小学校



運動会